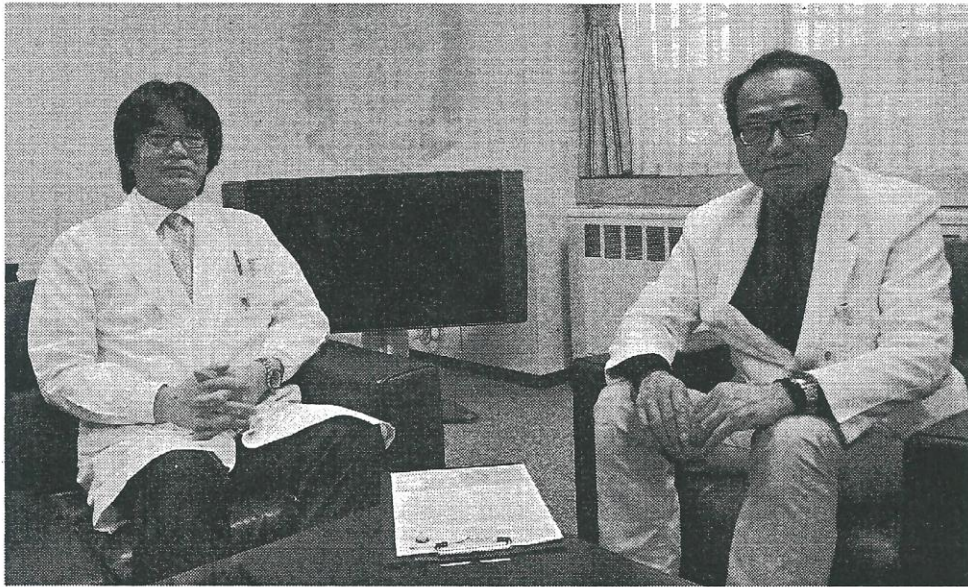


製鉄記念室蘭病院 新体制1カ月

製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町）を運営する社会医療法人・製鉄記念室蘭病院の理事長に松木高雪氏(58)が、病院長に前田征洋氏(56)が、それぞれ4月1日付で就任した。新体制となり1カ月を迎える中、両氏に抱負を聞いた。（松岡秀宜）

満足度と信頼度第一

がん診療充実させる



社会医療法人・製鉄記念室蘭病院の理事長に就任した松木氏（右）と、製鉄記念室蘭病院の病院長に就任した前田氏

松木理事長

蘭東地域唯一の急性期病院となる中、いわゆる「待てない医療」に対して、病院長とともに対応できる態勢をつくりたい。センターが完成したがん診療については、ハード面の充実だけでなく、ソフト面も充実させたい。

また、病院のほか、介

西胆振管内の基幹病院として、高度専門医療や救急医療、がん医療、周産期医療を中心に地域に貢献していきたい。地域の医療ニーズは常に変化中、職員とともに地域医療に貢献していくことが最も重要な使命だ。「この地域で最高の医療を提供し続ける」といっ

前田病院長

護老人保健施設、地域包括支援センター、訪問リハビリテーションセンター、人工透析を行うサテライトクリニックなど各法人組織についても今以上に充実させたい。道内各大学からの医師派遣などの協力をいただき、回復期、慢性期でも在宅まで含めた体制を構築できれば。市立室蘭総合病院や日鋼記念病院のほか、西胆振各病院との連携も深めたい。その上

で、足永武前理事長が大切にされた「思いやりの心」を忘れることなく、全職員が一丸となって、地域の皆さまに安心していただける態勢の整備に引き続き努めていきたい。

た役割を果たしたい。

また、患者さんが「この病院で良かった」と思う満足度、「何かあった時はこの病院で」と思っている信頼度が、病院に対する評価につながる。このため、満足度と信頼度を高めることを第一に考えて決断していきたい。そのためにも、患者さんや地域住民の視点で、何が必要かを考えることが大切。医療制度や診療報酬改定など、全国的に病院を

札幌医大卒。消化器疾患・臨床腫瘍が専門分野。新日鉄室蘭総合病院（当時）消化器・血液内科主任医長、消化器・血液内科長などを経て、2007年（平成19年）から15年3月まで製鉄記念室蘭病院副院長・第一診療部長。